

# 新学術領域「星惑星形成」2020年度大研究会

30 Sep.

9:25	9:30	代表挨拶	大塚修一郎	名古屋大学	銀河系の化学動力学上の新展開
9:30	9:50	A01発表	千葉紘司	東北大学	銀河系シミュレーションと同位体観測で探る46億年前の太陽系形成環境
9:50	10:10		藤本裕輔	カーネギー地球惑星科学研究所	磁場・宇宙線が駆動する銀河風について
10:10	10:30	A01発表	霜田治朗	名古屋大学	Two Component Dust Evolution Model of a Milky-Way like Galaxy
10:30	10:50		竹内 努	名古屋大学素粒子宇宙物理学専攻	系外銀河における分子雲の高分解能観測
10:50	11:10	休憩			ALMAによる渦巻銀河M33の巨大分子雲の高分解能観測：巨大分子雲の性質とその進化
11:10	11:30	B01発表	村岡和幸	大阪府立大学	アルマで探る銀河系最外縁部の星形成と星間物質の化学的多様性
11:30	11:50		近藤晃	大阪府立大学	散乱偏光で探る星惑星形成領域の水氷
11:50	12:10		下西 隆	新潟大学	分子雲形成前段階での多相星間媒質の性質
12:10	12:30		田崎亮	工学院大学	大質量原始星に付随する渦状態を伴う自己重力不安定円盤の俯瞰撮像
12:30	13:30	昼食			ALMA観測で追える大質量形成：フィードバックと原始星円盤
13:30	13:50		小林将人	東北大学	ONC領域におけるCMFとIMFの直接比較
13:50	14:10		元木業人	山口大学	赤外線暗黒星雲G23.477における星形成活動の検出
14:10	14:30		田中圭	国立天文台	前主系列星の長期モニタリング=ジェット駆動機構の解明に向けて
14:30	14:50		竹村英晃	総合研究大学院大学/国立天文台	ALMA Observations of the Protostellar Binary System L1551 IRS 5: Resolving the Gas Motion inside the Hill Radius
14:50	15:10		森井嘉徳	東京大学/国立天文台	極めて若い原始星天体に付随した円盤構造とその進化の観測的研究
15:10	15:30	休憩			低質量原始星エンベロープのH2O関連分子組成に対するX線放射の影響
15:30	15:50		高見道弘	台湾中央研究院	チャープパルス・フリーエ変換型マイクロ波分光計の開発
15:50	16:10		高桑 繁久	鹿児島大学	VLBIによるITSS (interstellar tiny scale structure)探査
16:10	16:30		大屋瑠子, 大小田結貴	東京大学	分子雲表面でのダストの成長
16:30	16:50		野津 翔太	理化学研究所 坂井星・惑星形成研究室	ASURA+BRIDGEを用いた星団形成シミュレーション
16:50	17:10	休憩			
17:10	17:30		小林かおり	富山大学	
17:30	17:50		今井 裕	鹿児島大学	
17:50	18:10		土橋一仁	東京学芸大学	
18:10	18:30		藤井通子	東京大学大学院理学系研究科	

1 Oct.

9:30	9:50	古屋 玲	徳島大学	BISTRO(星形成ガスのサブミリ波偏波サーベイ): 到達点と展望	
9:50	10:10	土井靖生	東京大学	星形成領域 NGC 1333 のフィラメントと磁場構造	
10:10	10:30	松村雅文	香川大学教育学部	星形成領域 Mon R2 分子雲の磁場構造：フランクデータの解析	
10:30	10:50	Hiroko Shinnaga	Kagoshima University	Magnetic Field in The Isolated Massive Dense Clump IRAS 20126+4104	
10:50	11:10	休憩			
11:10	11:30	眞山 聡	総合研究大学院大学	すばる望遠鏡による若い連星周囲のmisaligned円盤の偏光撮像観測	
11:30	11:50	大橋聡史	理研	若い原始星円盤の成長前線によるリング形成	
11:50	12:10	土井聖明	総研大/国立天文台	原始惑星系円盤HD 163296のALMA連続波観測によるダストスケールハイトの制限	
12:10	13:10	昼食			
13:10	13:30	荻原 正博	国立天文台	磁気駆動円盤風及び光蒸発の影響下で進化する円盤中での惑星形成	
13:30	13:50	A02発表	高橋実道	原始惑星系円盤中のダストリング構造の重力崩壊による微惑星形成	
13:50	14:10		高橋真介	原始星・円盤相互作用モデルの現状	
14:10	14:30		岩崎一成	原始惑星系円盤内側領域のデッドゾーン境界近傍におけるガスダイナミクス	
14:30	14:50	休憩			
14:50	15:10		荒川創太	国立天文台	原始太陽系星雲の核合成起源同位体不均質：ダスト粒子の移流・拡散・落下の影響について
15:10	15:30		荒馬 未沙子	東京大学/国立天文台	原始惑星系円盤内でのガス流が引き起こす高空隙ダストの自転による破壊
15:30	15:50		牛久保 孝行	海洋研究開発機構 高知コア研究所	コンドールから原始惑星系円盤での固体粒子の移動を探索
15:50	16:10	休憩			
16:10	16:30		Toshihiko Kadono	University of Occupational and Environmental Health	新しい微粒子衝突着過程の実験的研究
16:30	16:50		中村昭子	神戸大惑星学専攻	デブリの固着力：隕石粉の固着力測定
16:50	17:10		葵生川陽子	横浜国立大学	隕石から探る木星型惑星大移動説
17:10	17:30	休憩			
17:30	17:50		藤井悠里	名古屋大学	原始惑星系円盤における宇宙線の侵入可能性について
17:50	18:10		富永達佑	名古屋大学	ダスト衝突成長過程が駆動する原始惑星系円盤の不安定性
18:10	18:30		森 昇志	東京大学	磁気降着円盤におけるスノーラインの進化：地球型惑星の形成過程への示唆

2 Oct.

9:30	9:50	鶴山太智	Caltech/IPAC, NASA Exoplanet Science Institute	Subaru/VAMPIRESを用いた高コントラストH $\alpha$ 観測	
9:50	10:10	A03発表	寺田直樹	地球型惑星における運流流体力学的散逸のDSMCシミュレーション	
10:10	10:30	A03発表	成田憲保	MuSCATシリーズによるTESS惑星候補のフォローアップ観測	
10:30	10:50	休憩			
10:50	11:10		大野 和正	ダスト散逸によるスーパーパフの半影膨張説の再検討	
11:10	11:30		石川裕之	近赤外高分分光観測によるM型矮星の組成決定	
11:30	11:50		黒川 宏之	大気化学・散逸計算によるハビタブル惑星の水量進化の解明	
11:50	12:10	A03発表	福井睦彦	系外惑星の大気モデルの制約に向けた多色撮像装置MuSCAT3の開発	
12:10	13:30	昼食			
13:30	13:50		LIVINGSTON John	University of Tokyo	Follow-up of transiting planets from K2 and TESS
13:50	14:10		Ramires RAMIREZ	東京工業大学地球生命研究所 Earth-Life Science Institute	Planetary habitability during the pre-main-sequence phase
14:10	14:30		CATALDI Gianni	NAOJ / The University of Tokyo	ALMA observations of carbon gas in debris disks
14:30	14:50		樋口 あや	NAOJ	ALMA望遠鏡を用いたデブリ円盤のガス探査
14:50	15:10		橋本淳	アストロバイオロジーセンター	ALMAによるTタウ型星Sz84に付随する原始惑星系円盤の観測
15:10	15:30	休憩			
15:30	15:50		片岡章雅	国立天文台	ミリ波偏光観測で探る惑星形成
15:50	16:10		瀧 哲朗	国立天文台	円盤風で進化する原始惑星系円盤における新しいダスト成長メカニズム
16:10	16:30		木村 宏	千葉工業大学惑星探査研究センター (PIES)	ダストアグリゲイト付着成長・衝突破壊モデルの現状
16:30	16:50		仲谷峻平	理化学研究所	ダスト枯渇した原始惑星系円盤の光蒸発：ガスリッチ・デブリ円盤形成との関連性
16:50	17:10	休憩			
17:10	17:30	A02発表	奥住聡	東京工業大学	ごく若い星周円盤におけるスーパーアースの形成
17:30	17:50	A02発表	田中佑希	東北大学	木星より重い巨大ガス惑星による原始惑星系円盤のギャップ形成と質量降着率への影響
17:50	18:10		黒崎健二	名古屋大学	巨大衝突に伴うスーパーアースの水素大気損失
18:10	18:30		植田高啓	国立天文台	デッドゾーン内側境界での局所的微惑星形成：太陽系地球型惑星形成への示唆

3 Oct.

9:30	9:50	B02発表	百瀬宗武	茨城大学	計画研究B02(多様な環境下における円盤観測)に関する最近の成果
9:50	10:10	B02発表	武藤恭之	工学院大学	三重星系 GW Ori 周囲原始惑星系円盤における傾いたリング構造の発見
10:10	10:30	B03発表	田村元秀	東京大学	赤外線による系外惑星観測の新機軸
10:30	10:50	休憩			
10:50	11:10		佐野栄俊	国立天文台	超新星残骸に付随するフィラメント状分子雲の探究
11:10	11:30		澤田涼	京都産業大学	銀河の化学進化と重元素合成から探る 重力崩壊型超新星の爆発機構
11:30	11:50		榎植紀節	名古屋大学	大小マゼラン雲の星形成活動・重元素量分布と銀河間相互作用
11:50	12:10		慶應義塾大学	銀河系中心部における分子雲衝突と星形成	
12:10	13:30	昼食			
13:30	13:50		柏木 頼我	国立天文台/総合研究大学院大学修士2号	磁場に貫かれたフィラメント状分子雲の平衡状態における温度勾配の影響
13:50	14:10		杉谷光司	名古屋市立大学	渦状態の骨格構造を構成する分子雲の近赤外線偏光観測
14:10	14:30		石原昂将	総合研究大学院大学/国立天文台	ALMAによる大質量星形成領域でのコアスケールの分裂過程の統計解析
14:30	14:50	休憩			
14:50	15:10		西充一	新潟大学	Gaia DR2による星形成領域の研究
15:10	15:30		石倉来実	新潟大学	Gaia DR2を用いたOrion OB1 アソシエーションの解析
15:30	15:50		山田 麟	名古屋大学大学院理学研究科	素粒子系NGC 2023/2024 領域における大質量星形成
15:50	16:10	休憩			
16:10	16:30	B01発表	徳田一起	大阪府立大学/国立天文台	ALMAによるおうし座領域分子雲コアの統計的研究: 星なし分子雲コアからファーストコアまで
16:30	16:50		深谷紗希子	鹿児島大学	サブミリ波を用いたおうし座分子雲コア L1521 Fにおける磁場構造の観測的研究
16:50	17:00		大塚他		公募研究の紹介
17:00	18:00		質疑応答		